



病院に 救命救急センター を設置

大学病院は、4月1日付けで県内で2番目の救命救急センターを設置しました。

救命救急センターは、救急用ベッド6床、集中治療室（ICU）8床、及び脳卒中集中治療室（SCU）6床の計20床を持ち、専任医師9人、脳神経外科医9人（兼任）、看護師71人で受け入れ体制をとっています。



河野病院長らによる看板上掲

男女共同参画推進センターを開所

4月10日、男女共同参画推進センターの開所式を行いました。

同センターは、男女共同参画推進に関して、教職員の意識啓発、教育・研究と育児の両立、女性研究者の拡大等の総合的な支援事業を実施するために設立されたものです。開所式には、長崎大学及び他大学の関係者等約50人が出席。片峰茂学長、大井久美子センター長らによるテープカットで開所を祝いました（同センターについてはCHOO第31号で詳報）。

また同日、中部講堂において「21世紀の男女共同参画社会に向けて」をテーマにキックオフシンポジウムを開催し、300人以上が参加しました。



シンガポール国立大学と 大学間で学術交流協定を締結

本学は4月16日、シンガポール国立大学と大学間での学術交流協定を締結しました。

同大とは、1987年に医学部間で部局間学術交流協定を締結し、お互いに多くの交流を通じ、信頼関係を築いてきました。今回、大学間のさらなる交流を図るため、部局間から大学間の学術交流協定に発展することとなり、片峰茂学長と同大のタン・エン・チエ副学長が協定書に署名を行い、大学間の学術交流協定が締結されました。



附属図書館への 寄附金に対する 感謝状贈呈式

長崎大学医学部では、卒業生が卒後20周年を機に母校と後輩たちのために寄附を行う伝統が続いており、このたび、平成元年卒業生有志72人から、学生用図書の実を目的とした寄附金が贈られました。

これを受けて4月19日、多くの学生が学習している中央図書館の閲覧室において、卒業生からの寄附金に対する感謝状の贈呈式を行いました。



柴多一雄図書館長からの感謝状の贈呈

ナイロビ大学 （ケニア共和国）との 学術交流協定を締結

4月27日、ナイロビ大学において、片峰茂学長とジャコブ・カイメニール次席副総長が協定書に署名を行い、両大学間で学術交流協定が結ばれました。

今回の学術交流協定の締結は、林善彦歯学部長とナイロビ大学のエベリン・ウガイユ歯学部長を中心とする口腔科学分野並びに本学の国際健康開発研究所とナイロビ大学アフリカ研究所との交流を通してもたらされました。

